

アルタン関連図

80年代後半のデビューから現在まで、純度100%のドニゴール伝統音楽を世界に知らしめ、常にアイルランド音楽の中核を担ってきたアルタン。フィドルを中心とした躍動感溢れるダンス・チューンと、マレードの透明感溢れるヴォーカル曲で世界を魅了し続けている。なかでもマレードの歌声はまさに絶品。数々の大物シンガーたちとの共演が、その素晴らしさを物語っている。

ポール・ブレイディ

数多くのスターと共演、楽曲提供するアイルランドの代表的大物シンガー・ソングライター/ギタリスト。1960~1970年代はトラッド・シーン、1980年代以降はロック・シーンで活躍。



ドナル・ラニー

アイルランド音楽シーンに偉大な功績を残す「アイルランドのクインシー・ジョーンズ」と評される大プロデューサー。アイリッシュ・ブズーキの名医。



エンヤ

世界的な成功を収めたアイルランド・ドニゴール出身の女性シンガーソングライター、作曲家。モイア・ブレナンとの妹。



モイア・ブレナン

アイルランド音楽を代表するバンド、クラナドのフロントマン（ヴォーカル、ハーブ）。ドニゴール出身。



アルタンの結成される前のマレードとフランキー・ケンディとアルバム『Ceol Aduaidh』収録の『An Clár b'og Déil』にキーボードで参加。

リアム・オ・メンリィ

アイルランドの伝説的なロックバンド「ホットハウス・フラワーズ」のフロントマンであり、同国を代表するシンガー、マルチインストゥルメンタリスト（ピアノ、ボーラン、ホイッスル等）。



アルタンのアルバム『ブルー・アイドル』収録の『Daily Growing』ではマレードとデュエットを披露。

お互いのルーツであるアイリッシュ・トラッドを通じて、40年以上にわたり深く関わる。リアムがホストを務めるアイルランド語の音楽番組『Cuan an Cheoil』に、マレードと娘のニア（Nia Byrne）がゲスト出演し、トークとセッションを披露。

アルタンの世話役存在。デビューアルバム『Altan』(1987年)をプロデュースして以来、10作目の『Gleann Nimhe - The Poison Glen』(2012年)まで、アルバム制作の中核を担う。

マレードとモイアは、アイルランドのドニゴール県出身のアイルランド伝統音楽のスーパーグループ「T with the Maggies」のメンバーとして一時期活動。2010年にアルバムをリリースし、コンサートも行なった。また、二人の名義でビートルズの『In My Life』のシングルをリリースした。

チーフタンズ

アイルランド音楽を世界中広め、グラミー賞7個受賞を誇るアイルランドの国宝と評される伝説的なバンド。



チーフタンズのアルバム『ウォーター・フロム・ザ・ウェル』の収録曲、ドニゴールの伝統曲を集めたメドレー『The Donegal Set』にアルタンがゲスト参加。

直接マレードから伝統歌の歌詞を教わったり、アルタンとフリール・シスターズは親密な関係であり、多数共演している。クレアはドニゴール・スタイルのフィドル演奏が高く評価され、アルタンのメンバーに抜擢された。

ザ・フリール・シスターズ

新メンバーのクレア（フィドル）が加入前から所属する、実の3姉妹によるドニゴールのバンド。伝統音楽の賞『Gramad Ceoil』で最優秀若手音楽家賞受賞。



RTÉ コンサート・オーケストラ

アイルランドの国営放送（RTÉ）が擁する同国を代表するオーケストラ。



アルタンの結成25周年記念アルバム『アルタン・ウィズ・RTE コンサート・オーケストラ』を共作、コラボ・コンサートも開催。アルタンの代表曲を壮大なオーケストラ・アレンジで聴かせた。

ドリー・パートン

アメリカの音楽界を代表する「カントリー・ミュージックの女王」と称される世界的なシンガーソングライター。



ドリー・パートンのアルバム『Heart Songs: Live from Home』(1994年)、『Little Sparrow』(2001年)にアルタンが参加、マレードは歌でも参加。その後、アルタンのアルバム『The Blue Idol』にドリーが参加。

ボニー・レイット

グラミー賞受賞のアメリカの伝説的なブルース/ロック・ギタリスト、シンガーソングライター。スライド・ギターの名手。



カルロス・ヌニェスが世界各国のケルト系アーティストとコラボするアルバム『Inter-Celtic』にアルタンが参加。

『ザ・ワイドニング・ジャイル』でナッシュビルの名手たちと共演！

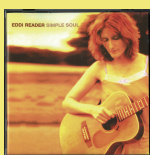
カルロス・ヌニェス

「ケルト音楽の新しい王」と絶賛される、スペイン・ガリシアを代表する世界的ギタリスト（スパニッシュ・バイブ）/ホイッスル奏者。



エディ・リーダー

スコットランド・グラスゴー出身の世界的なシンガー。フェアグラウンド・アトラクションのリード・ヴォーカルとしても知られる。



アルタンのアルバム『ザ・ワイドニング・ジャイル』(2015年)収録の『Far Beyond Carrickfinn』に参加、マレードとデュエットを披露。

アルタンのアルバム『Run away Sunday』(1997年)収録の『I Wish My Love Was a Red Red Rose』に参加。マレードとデュエットを披露。

大島保克のアルバム『島めぐり〜Island Journey〜』収録の『イラヨイ月夜浜』にマレード（フィドルとヴォーカル）が参加。アイルランド音楽と沖縄の島唄の素晴らしいコラボを聴かせる。

大島保克

沖縄県石垣島出身の伝統的な沖縄・八重山民謡の唄者であり、三線奏者、シンガーソングライター。



アリソン・クラウス

グラミー賞常連のアメリカを代表するブルース・カントリー、アメリカーナのシンガー兼フィドル奏者。近年ロバート・プラントと共作アルバムを発表。



ナッシュビルの音楽家たち

ジェリー・ダグラス（ドブロ）、ティム・オブライエン（マンドリン/ヴォーカル）、サム・ブッシュ（マンドリン）、ブライアン・サットン（ギター）、スチュアート・ダンカン（フィドル）、ブルース・モルスキー（フィドル/ヴォーカル）、ダロー・アンガー（フィドル）、トッド・フィリップス（ベース）、そしてアリソン・ブラウン（バンジョー）等々。

スティーヴ・クーニー

アイルランドの伝統音楽に、革新的なギター伴奏スタイルをもたらしたオーストラリア出身のギタリスト、マルチ奏者、プロデューサー。

